

修復・歯内の双方から最新の歯髄保護テクニックについて解説!

日本歯科評論 増刊2020

接着・機能性材料を活用した

歯髄保護

痛みのない信頼の歯科医療のために

編著

二階堂 徹

朝日大学歯学部 口腔機能修復学講座
歯科保存学分野 歯冠修復学 教授

林 美加子

大阪大学大学院歯学研究科
口腔分子感染制御学講座(歯科保存学教室) 教授

- 修復・接着歯学の分野では「象牙質レジンコーティング法」が保険収載され、単なる「くっつける接着」から「封鎖する・歯を守る接着」の重要性が高く評価されています。
- 一方、歯内療法学の分野では歯髄が生物活性および再生能力が高い組織であることの理解が進んだことを背景に、正しい歯髄診断に基づく機能性材料を用いた歯髄保護の可能性が広がっています。
- さらに、加齢に伴う歯の亀裂や損摩耗、根面う蝕、知覚過敏処置も歯髄保護への配慮が重要で、ここでも接着性材料は欠かせない存在です。
- 本書は、接着性材料と最新の機能性材料を活用した歯髄保護に焦点を当て、象牙質・歯髄を守り、痛みのない臨床のための確かなテクニックについてエキスパートが解説します。



A4変判・132頁・オールカラー・定価(本体5,800円+税)

接着・機能性材料を活用した

歯髄保護

痛みのない信頼の歯科医療のために

内容紹介(敬称略)

- [1] Dentin/Pulp Complex……………興地隆史
- [2] 可逆性または不可逆性歯髄炎の診査・診断……………杉井英樹・前田英史
- [3] 接着による歯髄保護——Super Tooth形成による確実な封鎖……………二階堂 徹
- [4] レジンコーティング法——接着の信頼性
……………柵木寿男・前野雅彦・越田清祐・河合貴俊
- [5] 生活歯の支台歯形成に対するコーティングの臨床(保険収載)……………高橋礼奈
- [6] 生活歯のインレー・アンレーに対するコーティングの臨床……………高垣智博
- [7] 象牙質知覚過敏への対応……………伊藤修一・門 貴司
- [8] 深在性う蝕のCR修復に裏層は必要ない……………北迫勇一
- [9] 深在性う蝕での歯髄温存療法……………堀江 卓・富士谷盛興
- [10] MTAによる歯髄保護……………高橋雄介・林 美加子
- [11] MTAによる直接覆髄……………澤田則宏
- [12] 断髄——根完成歯の不可逆性歯髄炎に対する新しい治療オプション……………泉 英之
- [13] フッ化ジアミン銀の効果——根面う蝕への対応……………福島正義
- [14] Tooth wearについて……………久保至誠
- [15] う蝕治療ガイドラインの活用……………林 美加子

コラム1 覆髄剤か覆髄材か

コラム2 レジンコーティング法の臨床ステップ

コラム3 ボンディング材の進歩とコーティング材への応用

コラム4 歯頸部のTooth wear における種々の欠損形態